

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 石川県金沢市不動寺小学校 _____

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫 _____）

所在地 〒920-0173 _____
石川県金沢市不動寺町イ 33 _____

E-mail hudouji-e@kanazawa-city.ed.jp _____

Website http://www.kanazawa-city.ed.jp/fudouji-e/ _____

幼児児童生徒数 男子 68 名 女子 71 名 合計 139 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

3. 活動内容

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「わが町不動寺・ふるさと不動寺」を活動テーマとして、ESDを「人間性を育むこと」と捉え、ESDの実践を通して「ともに学び合い、高め合う子の育成」を目標とした。具体的には、総合的な学習を柱に、①環境に係わる活動、②金沢市の伝統文化に係わる学習、③生物多様性に係わる学習、④地域の文化財等に係わる学習を行った。

① 環境に係わる活動

3年生は学校の裏山を活用したシイタケ栽培を通して里山利用の学習を行った。森林再生課や地域の農家の方々の協力を得て、伐採されたホダ木を利用し、2年時の3月にシイタケの菌を植えた。3年時では、成長を観察する中で、シイタケの生育しやすい環境やどんな世話が必要かを学び、1年を通して活動した。また、なぜ間伐が必要かを学んだ後には、間伐の見学と体験をし、間伐材の利用方法を学習した。2月には講師を招いて、収穫したシイタケを料理して新鮮な旬の味覚を楽しんだ。自然界の営みと森のはたらきを知り、大切な森林が健全に保たれるためにどのような手入れが必要か、シイタケ栽培を通して学ぶことができた。この活動を通して、子ども達は森づくりの大変さと必要性を感じる事ができた。

② 金沢市の伝統文化に係わる教育

4年生は、金沢の伝統工芸の学習の中で、今年度は特に「二俣和紙」と「加賀象嵌」について学んだ。二股和紙の学習では講師を招いて、和紙づくり体験から、

和紙のよさ、歴史などを学んだ。また、加賀象嵌作家で人間国宝の中川衛氏から、作品にかける思いや苦労など多くのことを学んだ。児童は自分の手で加賀象嵌の作品を体験した。金沢の偉人調べでは、児童が興味を持った偉人について学び、壁新聞にまとめ、多くの人に発信した。社会科の学習と関連した能美市の九谷焼の学習では、成形職人や絵付け職人の工夫や努力を知り、伝統工芸の技に対する興味・関心をさらに高めることができた。他にも河原市用水の歴史について実際に用水を見学したり、聞き取り調査を行ったりして、先人の苦労や業績を知ることができた。

③ 生物多様性に係わる学習

5年生は、地域の方の田を借り地域の方々の指導や支援を受けて、米作りに取り組んだ。手作業による田植え、稲の観察や生き物調べ、稲刈りやはさがけの作業など、古代米作りを体験した。今年度は消毒を使わずに、田んぼに生えた雑草を手で抜く作業も行った。収穫に至るまでに、様々な苦労や工夫があることを学んだ。収穫した古代米を、もみすりをして食べられる状態にする作業も見学し、流通前の苦労を知った。PTA 行事で実際に販売し、売るための工夫も学ぶことができた。人と人が関わり合う活動の中で、今と昔の作業の仕方や生産者や販売者の立場で考えたり、人の優しさに触れたりして、情緒面でも多くのことを学んだ。

④ 地域の文化財に係わる学習

不動寺地区は古代・中世の頃から栄えた地区であり、歴史的な伝承話もいまだに残されている。城址や寺院などの歴史的な建造物について調査を行ったり、文献を読んだりして不動寺地区の歴史を探った。調査活動では、地域の方や家族にインタビューをして、具体的な事実を集めるだけでなく、町全体の歴史も学ぶことができた。また、地域に伝わる獅子について学習し、地域の歴史を受け継ぐために、学校の伝統として『不動寺っ子元気獅子』を毎年行い、地域の文化祭や百万石まつり、不動寺バイパス開通式などでも披露した。このような活動を通して、この地域に住んでいることに誇りを持つと同時に、この町に愛着を感じ良さを伝えていこうという思いを持つことができた。



① の写真 3年「森の学習」



② の写真 4年「伝統工芸」



③ の写真 5年「古代米作り」



④ の写真「不動寺の歴史」

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

のびゆく金沢・華やか金沢 (金沢市小学校伝統・文化副読本) 金沢ふるさと偉人館 農業とわたしたちの暮らし (JAバンク) いしかわの農業 (石川県農林水産部) 市かなざわ育ちの野菜果物 (金沢市農業水産振興課)
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

主に、総合的な学習の時間に位置づけ学習を行った。指導内容は、「わが町不動寺 わがふるさと」という活動テーマのもと、3年生は環境、4年生は伝統文化、5年生は米作り、6年生は歴史に分けて、それぞれの学年で探究課題を設定し取り組んだ。指導方法においては、①児童の課題意識を連続、発展させる支援と工夫②子に応じた指導の工夫③体験活動の工夫④各教科等との関連を重視した指導⑤言語により整理分析したりまとめ表現したりする学習の重視を挙げ、工夫改善に努めるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項1-4に対応

3年生では、森の学習でシイタケ栽培を行っているが、学習を継続して行えるように、2年生の終わりにシイタケの植菌を行っている。金沢市の森林再生課の方々と連携して活動を行っている。3年生の活動に固定し位置付けているので、組織的かつ継続的に行うことができる。

5年生も同様に、毎年米作りのボランティアの方々に依頼しているため、継続して体験活動を行うことができる。このように、学年の活動を固定化することにより、組織的に活動に取り組むことができると考える。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度) ※チェック事項1-5に対応

前年度の学習発表会を受けて、どの学年も意欲と見通しを持って学習に取り組むことができた。また、校区の自然や地域の人々とふれあい、充実した体験活動を行うことにより、何気なく過ごしている地域を見直す機会となり「わが町不動寺・ふるさと不動寺」を児童なりに感じ、地域への愛着と誇りを持つことができた。また、インタビュー活動や学校外の方々とかわりを通して、よりよいコミュニケーションをとる能力や進んで参加しようとする力が身についてきた。

- ⑤ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項2-2に対応

学んだことを伝える場として、一つ下の学年や保護者の方、教えていただいたゲストティーチャーの方に向けて今年も学習発表会を開いた。児童は、大型テレビやイラスト、表、紙芝居、劇、実物等を提示するなど伝達ツールを工夫し、聞き手を意識した発表ができた。また、玄関の掲示板に学習内容を掲示したり、ホームページ上に公開したりすることができた。今後は、小中一貫教育の中で他校との交流も図っていけるよう計画を立てていきたい。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)

(200字程度) ※チェック事項2-3に対応

今年度は、金沢市の小中学校すべてがユネスコスクールに加盟した。活動内容や成果を交流するため、2月にポスターセッションを行うことになっていた。しかし、北陸地方の大豪雪の影響により、交流会が中止となった。そのために、金沢市の教育委員会は、全ての小中学校のポスター(模造紙1枚分)を金沢市の図書館にて数回に分けて掲示し、図書館を利用する地域の方々にも活動内容を紹介することができた。

⑦国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

残念ながら、今年度は国内外のユネスコスクールとの交流が実施できなかった。そこで、来年度は、金沢市の姉妹都市であるバッファロー市（アメリカ）やイルクーツク市（ロシア連邦）の小学校との交流ができるように、市の教育委員会に問い合わせたり石川県国際交流センターに問い合わせたりして、交流できるような情報をいただいている。また、来年度は市の国際交流事業にも応募し、交流の幅を広げられるようにしている。

⑧ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

本校の学習内容にはこれまでの蓄積もあり、地域教材やテーマについてもある程度決まった活動になっている。これは、地域の見守りボランティアや金沢市役所の方々のご協力のおかげで成り立っている。また、この地域には伝統工芸の人間国宝も住んでいる。この地域だからこそ可能な学習活動であるともいえる。古代米の学習を例に挙げると、「消毒を使わず、自分たちで雑草を抜く作業を体験したい。」という児童の願いを受け、ボランティアの方々が快く答えてくれる強いきずなや信頼関係が築かれている。4年生の伝統工芸の学習でも、歩いていける距離に加賀象嵌の体験ができ、学習を継続して取り入れることが可能である。よって、児童は、この地域の人材の充実によって、6年間を通して多様な学びや活動ができる。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

来年度も、今年度と同様に活動を行う計画である。3年生は市の森林再生課の方々と連携し、シイタケ栽培を通して森林の仕組みや森の必要性を学習する。4年生は、金沢の伝統工芸の学習や金沢の偉人調べ学習など先人の工夫や努力を知り、伝統工芸の技に対する興味・関心をさらに高めるようにする。5年生は、古代米作りの体験活動を中心に農業に携わる人々の思いや苦労を感じるとともに、今年度は生物多様性の面からもアプローチし、生態系の仕組みにも学習の幅を広げられるようにしていきたい。6年生は、不動寺の歴史について追跡調査を行う。城址や寺院などの歴史的な建造物について調査を行ったり、文献を読んだりして不動寺地区の歴史を再発見していく。